

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援 キッズどりーむ			
○保護者評価実施期間	R7年2月1日 ~ R7年2月15日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数)	7
○従業者評価実施期間	R7年2月1日 ~ R7年2月15日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数)	8
○事業者向け自己評価表作成日	R7年2月20日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・個別の実態に応じたプログラム立案を行い、実施している	・本人や保護者の困り感を職員全員が把握し、支援につなげている ・実施、評価を丁寧に行い、よりその子に合った支援が提供できるようにしている	・職員の専門性と経験を高めるため研修の機会を増やす
2	・小集団のため、個別での対応もできる	・小集団において、困難と感じた際に1対1の対応も可能。個々に合わせた対応を行っている	・1対1の対応となった際どういう状況でどんな支援を行ったかを職員全員が把握と評価をして、より質の高い支援の提供ができるようにする
3	・放課後等デイサービスへ移行する際に引き続き支援が可能	・児童発達支援利用時に、就学後を見据えての支援を行っている	・保育所や学校との情報交換等を密にする

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保護者同士の交流の場が少ない	・保護者が集まる機会を作れていない	・保護者参観を取り入れる ・親子療育や茶話会などを、保護者同士の交流を主とした行事を行う
2	・保育所等に送迎するため保護者とお会いする機会が少ない	・サービス提供時間が午前中で保育所等への送迎しているため ・行事が少ない	・現在は気軽に相談してもらうため保護者とはLINEを交換している。しかし、直接お会いしてお話する機会があれば、より良い支援に繋がっていくと思うので、茶話会等を積極的に開催したい
3	・非常時の対応や安全確保についての周知	・保護者への周知が完全ではない	・保護者が来所された際にでも見られるようにマニュアル等の掲示をする ・HPやSNS等で避難訓練実施について報告する